

「小さな世界都市」を実現する(兵庫県豊岡市)

課題(状況)

人口減少は地域の活力を削ぐ強大なベクトルとなっている。しかし、世界には大きなマーケットがあり、これを取り込むことで地域経済の活性化に繋げる。「小さな世界都市」の実現、ローカルであることをベースに世界で輝くことで、誇りが生まれ、まちづくりのエネルギーを創出する。

目標

人口規模は小さくとも世界の人々から尊敬・尊重されるまちを5つの目標で実現

- ①受け継いできたものを守り、育て、引き継ぐまちづくりを進める
- ②芸術文化を創造し、発信する
- ③環境都市「豊岡エコバレー」を実現する
- ④「小さな世界都市」を支える市民を育成
- ⑤情報発信戦略を進める

地域資源/産学連携等

- ・「コウノトリも住める」環境整備を進めてきた「コウノトリ野生復帰推進協議会」メンバー(コウノトリの郷公園(兵庫県)、JA、豊岡市など地域社会)
- ・城崎アートセンターの芸術監督、劇作家 平田オリザ氏

政策(補助金等)/規制

- ・城崎温泉の木造3階建旅館の多くは、建築基準法上、「既存不適格」な建物
→ 木造3階建街並みを将来にわたって守るルールづくり(歴史的建造物への指定など)

具体の取組内容

①取組内容・スケジュール

<コウノトリ、環境経済関連事業>

昭和40年 コウノトリの人工ふ化スタート

平成元年 コウノトリの人工ふ化成功

平成14年 コウノトリの野生復帰推進計画策定
～ 湿地再生、コウノトリ育む米生産等

平成16年 環境経済戦略策定・認定実施

<合併後の地域の資源を生かした事業>

- ・城崎温泉の復興、出石永楽館の復元開館
- ・城崎国際アートセンターの創設、演劇授業等
- ・国内・海外旅行博参加等情報発信の実施等

②予算

約35,000千円(コウノトリ文化館管理、野生復帰・生息地保全対策事業など)

成功要因

- ・湿地整備や農法の技術開発などコウノトリの環境整備に向けた多様な主体の参加・支援
- ・歌舞伎・演劇等の芸術家や専門家との連携
- ・市長のリーダーシップと地域の伝統的コミュニティとの納得性ある相互コミュニケーションの実施

成果

- ・コウノトリの野生復帰を契機とした環境創造型農業の基盤確立、環境経済事業への展開
- ・「コウノトリと暮らすまち」豊岡の創出による世界での認知度向上
- ・創造性に富むアートによる地域活性化と環境やアートが地域活性化に繋がる仕組みの構築

地域の変化

- ・コウノトリや出石永楽館歌舞伎などメディアで取り上げられる機会が増えており、市民にも良いまちになっているとの意識が醸成されている

残る課題

- ・環境都市「豊岡エコバレー」の実現
- ・インバウンド観光の拡大(年間10万人へ)
- ・芸術文化を地域に根差す困難と収益性の向上

次の行動

- ・減農薬から無農薬栽培への新たな農法の確立、コウノトリ野生復帰の広がり仕組み構築
- ・世界各地のパフォーミング・ツーリズムの育成など外国人を持続して集客する仕組みの構築とこれによる収益性の向上